外国語科（英語）学習指導案

日　時　令和〇年〇月〇日(〇)
　　第５校時　13：30～14：20
学校名　中学校
対　象　第３学年
会　場　教室
授業者　〇〇　〇〇

１　題材名

Let's Read 3　"Changing the World"　（*Here We Go!　ENGLISH COURSE 3*）

２　題材の目標

12 歳の少女が世界で起こる問題について何を言いたかったかを知るために、スピーチの概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを友達と伝え合うことができる。

３　題材の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　スピーチを通して環境問題について使われる英語の語句や表現を理解する。 ②　既習事項を使ってスピーチの概要や要点を読み取る技能を身に付けている。	スピーチの概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを友達と伝え合っている。	スピーチの概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを友達と伝え合おうとしている。

４　指導観

⑴　題材観

本題材は、中学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）第２章　第９節　外国語　第２　英語　１　目標　⑵　読むことのうち、

> ウ　社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。

を受けて、設定した。

また、内容〔思考力、判断力、表現力等〕⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項のうち、

> イ　日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

さらに、内容　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項のうち、

> ①　言語活動に関する事項
> 　ウ　読むこと

(ｴ)　簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。

を受けて設定した。単元の最終段階では、環境問題に関するスピーチ原稿から書き手の主張を読み取り、その主張に対する自らの考えをクラスメイトと伝え合うことを目標とする。

⑵　生徒観

本校は、少人数授業を行っており、授業対象グループは、２学級を単純３分割したうちの１グループである。最終学年となり、学習意欲の高まりが感じられる。読むことの学習においては、第二次世界大戦中の広島の中学生の日記から概要を読み取る活動や、ロボットと人間の関わりに関する文章を読んで自分の興味のあるロボットについてクラスメイトとやり取りをする活動を行ってきた。しかしながら、まだ英文の要点をしっかり読む力は不十分なところもある。そのため本題材では、スピーチ原稿から書き手の主張を読み取ることに焦点を当てる。単元の目標に向かって、スピーチ全体を聞いたり読んだりして概要を把握することや、スピーチをいくつかの部分に分けて詳細な読み取りを行うことで、書き手の主張の読み取りに迫っていく。そして、題材の最終的な活動として、一人一人が読み取った主張はどこか、なぜそれが読み取るべき主張だと考えたのかについて表現する力を身に付けさせたい。

⑶　教材観

本単元は、カナダの環境活動家である Severn Cullis-Suzuki（セヴァン・カリス・スズキ）が、1992 年の地球環境サミットで行った演説を扱っている。12 歳の彼女のスピーチは、多くの人々に感銘を与え、環境問題に対する意識を高め、昨今ではスウェーデンの Greta Thunberg（グレタ・トゥーンベリ）の活動や SDGs へつながっている。題材に関して、生徒は Unit 5 で海洋プラスチック問題について学んだり、自分の関心のある問題についてプレゼンテーションを行ったりしたため、それらを想起させてから本単元を導入していく。また、生徒と同年代の子供が行った演説であることも価値付けながら本単元を進める。そして、読むことの指導の中で、話し手の主張、つまり要点を読み取ることを目標とするため、単元末には“Severn wanted adults (not) to～”という文を使って話し手の主張のどこを読み取ったかについて表現させ、考えたことを書かせたことをクラスメイトと共有していく。スピーチ全体を通した主張を読み取る手だてとして、繰り返し出てくる表現に着目させること、段落や内容のまとまりなどの文章構成や各文の役割を考えながら読むことなどに留意して指導していく。単元の最終段階では、読み取った主張を基に、次のような文章を書いてクラスメイトと読み合うことを目標とする。

（文章の例）

I think Severn wanted adults to take action as one single world for our future. I totally agree with her idea. She said we are afraid to share our wealth. I think we should share not only our wealth, but also our problems. For example, I learned the problems of plastic waste at school. I didn’t know what to do at that time, but now I use my canvas bag and join a volunteer activity to reduce plastic waste. In fact, when I joined the activity, most of the participants were students, and there were a few adults, especially old people. I think all generations should join the activity and find the situation around us.

５　年間指導計画における位置付け

学期	単元名	指導内容 ○言語材料　◇テーマ)	評価の領域
第1学期	Unit 1 School Life Around the World	○　第４文型・第５文型 ◇　世界の学校生活	「話すこと［発表］」
	Unit 2 Our School Trip	○　現在完了形 ◇　修学旅行	「話すこと［やり取り］」
	Unit 3 Lessons From Hiroshima	○　現在完了形 ◇　平和学習	「書くこと」
	Let's Read 1 From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi	◇　1945 年の広島の中学生の日記	「読むこと」
	You Can Do It! ① 「過去」と「現在」の相違点を挙げよう	◇　過去と現在の街の様子の比較	「話すこと」
第2学期	Unit 4 AI Technology and Language	○　関係代名詞 ◇　ＡＩ技術	「書くこと」
	Let's Read 2 Robots Make Dreams Come True	◇　ロボットと人間との関わり	「読むこと」
	Unit 5 Plastic Waste	○　関係代名詞 ◇　環境問題	「話すこと［発表］」
	Unit 6 The Chorus Contest	○　分詞の後置修飾 ○　間接疑問文 ◇　合唱コンクール	「聞くこと」
	You Can Do It! ②　学校に必要なものを考えて意見を伝えよう	◇　学校に必要なものに関するディベート	「話すこと［やり取り］」
	Unit 7 Tina's Speech	○　疑問詞＋to 不定詞 ◇　卒業スピーチ	「話すこと［発表］」
第3学期	Let's Read 3 Changing the World（本単元）	◇　環境問題に関するスピーチ	「読むこと」
	Unit 8 Goodbye, Tina	○　仮定法 ◇　お世話になった人への手紙	「書くこと」
	You Can Do It! ③ ３年間を締めくくる言葉を考えよう	◇　詩の作成	「書くこと」
通年	単元テスト		
	定期考査		
	パフォーマンステスト		

６　単元の指導計画と評価計画（全６時間）

時	目標	○学習内容　・学習活動	評価規準（評価内容）
第１時	単元の目標とスピーチの大まかな内容を理解する。	○　単元の目標の理解 ○　単元の学習内容の理解 ・　スピーチを聞いたり、動画を見たり、本文を読んだりして、教師の質問に答えながら概要を捉える。 ・　p. 98 TIPS for Reading を確認し、繰り返しの言葉に着目する。	本時は、本単元全体の導入なので、形成的評価は実施するが、総括的評価は行わない。
第２時	セヴァンが思う子供と大人がそれぞれ知っていることと知らないことは何かを読み取る。	○　前時の復習 ・　前時に扱った概要理解の質問を生徒同士で出し合う。 ○　スピーチ序盤（始め～p. 99 18 行目）の内容理解 ・　本文を黙読する。 ・　新出語句や表現を練習する。 ・　新出語句や表現をふまえて本文を聞きながら読む。 ・　本文を黙読し、内容理解の質問に答える。 ・　音読をし、セヴァンの主張をクラスメイトに伝えられるようにする。 ・　セヴァンの主張はどこかを読み取り、ペアやグループ、クラス全体で共有する。	ア①（ワークシート、定期テスト） ア②（ワークシート）
第３時	ストリートチルドレンの話を聞いてセヴァンが思ったことを読み取る。	○　前時の復習 ・　スピーチ序盤で読み取った主張はどこか、理由と共にペアで共有する。 ○　スピーチ中盤（p. 99 19 行目～p. 100 ８行目）の内容理解 ・　本文を黙読する。	ア①（ワークシート、定期テスト） ア②（ワークシート）

		・　新出語句や表現を練習する。 ・　新出語句や表現をふまえて本文を聞きながら読む。 ・　本文を黙読し、内容理解の質問に答える。 ・　音読をし、セヴァンの主張をクラスメイトに伝えられるようにする。 ・　セヴァンの主張はどこにあるかを読み取り、ペアやグループ、クラス全体で共有する。	
第４時	セヴァンから大人へのメッセージを読み取る。	○　前時の復習 ・　スピーチ中盤で読み取った主張はどこか、理由と共にペアで共有する。 ○　スピーチ終盤（p. 100　9行目～終わり）の内容理解 ・　本文を黙読する。 ・　新出語句や表現を練習する。 ・　新出語句や表現をふまえて本文を聞きながら読む。 ・　本文を黙読し、内容理解の質問に答える。 ・　音読をし、セヴァンの主張をクラスメイトに伝えられるようにする。 ・　セヴァンの主張はどこにあるかを読み取り、ペアやグループ、クラス全体で共有する。	ア①（ワークシート、定期テスト） ア②（ワークシート）
第５時 （本時）	セヴァンが一番伝えたかった主張を読み取り、自分の考えを書く。	○　前時の復習 ・　スピーチ終盤で読み取った主張はどこか、理由と共にペアで共有する。 ○　一番伝えたかった主張	イ（ワークシート） ウ（ワークシート）

		に対する自分の考えのライティング ・　スピーチ序盤・中盤・終盤の主張を確認する。 ・　どの部分が最も伝えたい部分だと考えたか、本文から抽出する。 ・　自分が読み取った主張と、それに関する自分の考えを書く。 ・　ペアで作文を読み合い、内容面及び言語面のアドバイスやコメントを送り合って作文を進める。	
第６時	スピーチ文を読んだ感想を読み合い、単元を振り返る。	○　前時の復習 ・　スピーチから読み取った主張はどこか、ペアで共有する。 ○　スピーチ文を読んだ感想の共有 ・　作文を回覧し、読み合ってコメントを書く。 ○　単元全体の学習の振り返り	イ（ワークシート） ウ（ワークシート）

７　指導に当たって

ア　同世代の子が行ったスピーチを学びながら、環境問題に対する自分の意見を表現することで、「主体的な学び」につなげる。

イ　セヴァンの主張は何かを読み取る学習の過程で、仲間との対話を通してスピーチ文についての自分の考えや思いを伝え合ったり、新たな視点に気付いたりして自分の考えを広げていく「対話的な学び」を促す。

ウ　スピーチやクラスメイトの書いた作文を読むことで、自分の考えを構築していく「深い学び」につなげる。

８　本時（全６時間中の第５時）

⑴　本時の目標

セヴァンが一番伝えたかった主張を読み取り、自分の考えを書く。

⑵　本時の展開

時間	○学習内容　・学習活動	指導上の留意点　配慮事項	評価規準（評価方法）
導入 （7 分）	○　Greetings ○　Small Talk ○　Warm up (Talk in Pairs) What did you learn from Severn?	・　自分の意見を伝え合う活動を毎時間行う。	
展開① （20 分）	○　単元の目標と本時の目標共有 ・　本時の目標をタブレットでデータ入力する。 Unit Goal 12 歳の少女が世界で起こる問題について何を言いたかったかを知るために、スピーチの概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを友達と伝え合うことができる。 Today's Goal セヴァンが一番伝えたかった主張を読み取り、自分の考えを書く。		イ　スピーチの概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを友達と伝え合っている。（ワークシート） ウ　スピーチの概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを友達と伝え合おうとしている。（ワークシート）
	○　一番伝えたかった主張に対する自分の考えのライティング ・　スピーチ序盤・中盤・終盤の主張を確認する。 ・　どの部分が最も伝えたい部分だと考えたか、本文から抽出する。 ・　自分が読み取った主張と、それに関する自分の考えを書く。	・　前時までに使ったスライドを用いて、本文の内容について生徒と英語でやり取りしながら、主張を想起していく。 ・　読み取った主張、その主張に対する自分の考えと理由を書かせる。	
展開② （18 分）	○　アドバイスやコメントを基にした自分の作文の改善 ・　ペアで作文を読み合い、内容面及び言語面のアドバイスを送り合って作文を進める。	・　自分の作文に取り入れられそうな表現は参考にさせる。 ・　アドバイスの視点について、文章でコメントする箇所を設けると同時に、読む時のチェックポ	

		イントをワークシートに記載し、アドバイスが送りやすくなるようにする。（記号や大文字小文字の区別・動詞の形や時制など）	
まとめ （５分）	○　目標の確認 ・　本時の学習を振り返り、タブレット端末を用いて学習成果をデータ入力する。		

⑶　板書計画

Unit Goal Today’s Goal Today’s menu	Severn wanted adults (not)to ～ 自分の考え 理由	TV モニター （デジタル教科書、スライド）

⑷　授業観察の視点

ア　スピーチから読み取った内容を自分の考えと結び付けていたか。

イ　アドバイスやコメントを基にした活動が、自分の作文をよりよくするために生かされていたか。

ウ　単元の目標に向かった授業構成となっていたか。